

令和3年第1回中津川市教育委員会（定例会）議事録

日 時 令和3年1月25日（月） 午後1時30分～

場 所 にぎわいプラザ 6-1会議室

出席委員 教育長 岩久 義和
委 員 小栗 仁志 田島 雅子 三尾 和樹 橋本 あみる

事務職員 小関事務局長・大瀧教育次長（兼）学校教育課長・伊藤事務局次長（兼）教育企画課長（兼）施設計画推進室長・小栗施設建設対策官・丹羽文化スポーツ部長・松井文化スポーツ部次長（兼）オリンピック対策室長・後藤教育研修所長・河合幼児教育課長・西尾発達支援センターつくしんぼ所長（兼）発達支援センターどんぐり所長・太田阿木高等学校事務長・池戸生涯学習スポーツ課長（兼）少年センター所長（兼）勤労青少年ホーム所長・原文化振興課長（兼）市史編さん室長・林鉦物博物館長（兼）東山魁夷心の旅路館長・青木中央公民館長・小池図書館長（兼）蛭川済美図書館長

会議日程 1 開 会
2 前回議事録の承認
3 教育長報告
4 議 事
5 閉 会

日程	議 事	件 名	結 果
第1	議第1号	令和3年度中津川市教育委員会主要事業について	承 認

■教育長 本日は4名の委員の出席を得ましたので、教育委員会は成立しました。ただいまから令和3年第1回中津川市教育委員会を開催します。

日程第2、前回議事録の承認につきましては回議とします。

続いて日程第3、教育長報告を行います。前回以降の出席行事を中心に報告します。

12月17日は本年度最後の教育長訪問を阿木高等学校で行いました。同日、大井元教育長さんに来庁していただき、令和3年度の岐阜サマー・サイエンス・スクールの実施方法について、お知恵を拝借しました。21日は総合教育会議に出席しました。委員の皆さんにもご参会いただきました。ありがとうございました。22日は12月議会最終日に出席しました。年が改まり、1月6日は例年より2日早い始業式でした。大きな事故や事件が発生することなく、無事に冬季休業を終えたことをご報告します。10日に予定されていた成人式は、5月の連休に延期されました。14日には本県も緊急事態宣言の指定地域になりました。そのため、15日に校長会代表者との懇談を行い、18日に臨時校長会を開催しました。21日は懇談のため、東濃教育事務所に出向きました。

今後の主な行事です。1月27日は東濃地区教育長会、28日は教頭会、29日は校長研修会に出席する予定です。2月4日は岐阜県都市・町村教育長連合会合同研修会、5日は東濃地区消防職員意見発表会に出席する予定です。以上です。

次に、教育委員会事務局並びに文化スポーツ部から報告します。

小関事務局長。

■事務局長 前回の教育委員会以降の主な出席行事等について報告します。

12月17日から1月14日の間に10回、県内、市内の感染者の拡大、市職員の感染、緊急事態宣言の発令などを受けて、新型コロナウイルス感染症対策本部会議が開催され、出席しました。21日は総合教育会議に委員さんにご出席いただき、ありがとうございました。23日は阿木高校が平成26年度、平成30年度に続き3度目のお米甲子園金賞を受賞しましたので、市長に報告を行いました。年が明けまして1月6日、いつもより2日間前倒しして冬休みが終わり、休み明けの登校を警察署長、市長とともに南小学校において見守りました。14日は山口地区から山口幼稚園のこども園化についての要望書が市長に提出されましたので、同席しました。

今後の予定です。28日に教育評価委員会が予定されています。同日、教頭会も予定されています。29日に校長会が予定されていますので、出席を考えています。以上です。

■教育長 丹羽文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 文化スポーツ部に関わる主な行事や事業について報告します。

全国的に感染者が急増している中、12月14日から20日に感染者が相次いだため、感染拡大防止のため12月23日から1月12日まで文化スポーツ施設の利用を停止しました。また、1月10日に予定していた成人式は、新成人は894人ですが、半数以上の県外からの移動や二次会などを考慮し、実行委員会の意見では、「安心できる時期にしてほしい」「市民を不安にさせたくない」などがあり、5月3日に延期し、再延期はないことを12月23日に決定しました。

また、県では1月9日に独自の非常事態宣言が発令されましたが、市内の感染状況を検討し、13日から施設の利用停止を解除し、県の対策に合わせて、利用時間を午後8時までとしました。さらに、14日に緊急事態措置の実施区域に指定され、2月7日までは施設の制限、及び市の会議・イベントを自粛いたしました。期間中は、これまでの感染対策をより徹底し、抜き打ち検査などを行い、対策強化に繋がります。

主な行事です。12月16日から1月15日まで（仮称）市民交流プラザ基本設計書（案）のパブリックコメントが行われました。7名から意見をいただいています。12月17日、勤労青少年ホームの有料化に向け、利用者説明会を開催しました。参加者は約20名でした。19日、文化会館リニューアルオープン式典を開催しました。20日から22日まで一般内覧会を行う予定でしたが、コロナの関係で延期しています。23日、（仮称）市民交流プラザ意見交流会を図書館で行う予定でしたが、中止にしました。図書ボランティアの16団体20名が、参加される予定でした。

1月6日、苗木と付知公民館、アートピア付知交芸プラザの指定管理者選定委員会が行われました。14日、第2回図書館協議会を中央公民館で開催しました。この協議会の中でも、市民交流プラザの建設に向けて意見交換を行なっています。20日、スポーツ推進計画策定委員会は、書面決議としました。22日、東京笹川記念会館で開催される予定のB&G全国サミットは中止されました。

今後の予定です。1月26日、遠山史料館で毎年行われている火災防御訓練を開催します。昭和24年1月26日に国宝法隆寺の壁画が焼かれたのを機会に、こういった文化財の火災訓練が毎年全国で行われています。27日、第76回国民体育大会冬季大会スケート競技会（スピード）「ぎふクリスタル国体2021」が、1月31日までの5日間、恵那市で開催されます。今回の開催も無観客、ライブ配信となっています。市の出場者が2名います。中京高校3年生の原駿太君、兄妹で農業高校の2年生の原ひよりさんと聞いています。頑張ってくださいと思います。27日、スポーツ施設年間予約調整会議を開催します。28日、教育評価委員会が

開催されます。同日、株式会社三菱UFJ銀行中津川支店長から、美術館建設及び美術品等取得基金に50万円の寄付をいただきます。2月7日、東京2020オリンピック聖火が市内で展示されます。以上です。

■教育長 ただいまの報告につきまして、ご質問等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 お米甲子園について、長野県にいる知り合いの農家から電話があつて、「阿木高校、知っているか」と言われました。阿木高校は学校部門では非常にいい点数で、電話をくれた方は阿木高よりほんの少しいい点だったそうです。一般部門ではなかなかそこまではいかないということでしたが、「これで3年目なので、結構一般の方々にも有名です。頑張ってください」という連絡をいただきました。

■教育長 ありがとうございます。事務長は学校で報告をお願いします。

ほかにございませんか。

ご質問等がないようでございますので、日程第4、議事に入ります。

議事日程第1 議第1号「令和3年度中津川市教育委員会主要事業について」提案説明をお願いします。

伊藤事務局次長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ここで一旦区切らせていただきます。ご質問やご意見等ありましたら、お願いします。

田島委員。

■田島委員 この中に、コロナ禍や感染対策という言葉がほとんど出てきません。最初の伊藤次長のお話に感染対策や今後のことがあったので少しは分かりましたが、この主要事業の概要では、あたかも令和3年4月からコロナが終息して、いつも通り事業ができるととれてしまいます。伊藤次長が話されたことが、書かれてあれば非常にいいと思いました。

コロナが終息したらこれをやろうという4月からの計画ですが、これができなかつたら、どうしようということは書けないものですか。令和2年度にできてなくて、令和3年度に臨む事業ですが、できなかつたらどうしようとは書けないのですか。

■教育長 小関事務局長。

■事務局長 全体的な形で令和3年度の計画を記載しています。今、国の方針では、コロナの中でも教育は止めないという方向性です。例えば児童・生徒に一人感染者

が出た場合や、先生に一人感染者が出た場合でも、学校を全部休校にすることは控えてくださいという通知が国から来ています。状況にもよりますが、基本的には学級や学年単位くらいで休講や休業の措置をとる形です。基本的には計画した形で進めることができると考えています。

どうしてもコロナの影響を受けるものとして、サマー・サイエンス・スクールは従来宿泊を伴っていたので、非常に心配があります。そういった部分については考慮して、やり方を変えていく形で当初から計画しています。コロナの影響を万が一受けた場合の対応として、GIGAスクールの準備が、国でも進んでいます。それに沿った形で実際に運用ができていく形を考えています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 これだけを見ていると、できないときの不安がかなりあるので、どこかにそういうことを書いていただいて、想定したものもあった方がいいと思います。

■教育長 局長が説明した方向で、教育委員会としては動いています。令和3年度は、令和2年度1年分の経験があるので、臨機応変にできると思っています。田島委員ご指摘されたことは、大切なことだと承知しておりますので、悪いケースも頭の中にしっかり入れながら、来年度を迎えたいと考えています。ほかにご質問等ございませんか。

小栗委員。

■小栗委員 私もこれを見て、コロナの影響で昨年できなかった事業が多々ある中で、その1年間の経験を踏まえて、令和3年度の事業が、このようにできれば特に問題はないですが、特に集合型の事業や人を集めて行うものに関しては、記載するかどうかは別として、できないときの対応をやはり考えておくべきと思います。そういったことを踏まえて、計画に則ったものに近い形で、できるような対応をとっていただくようにぜひお願いしたいです。

■教育長 集合型というと教員研修が大きく関わってきます。教育研修所で、計画通り進まず集合型ができなかったとき、どのように実施していくか何かプランを紹介できますか。

後藤教育研修所長。

■教育研修所長 現在、研修もやはり集合型で集めることは大変危険があるので、1月に行う研修会は、オンライン研修会を中心としています。今、来年度の研修計画を立てていますが、オンラインで研修したことの良さも生まれてきました。ぎりぎりまで授業をして、サッとパソコンの前に座れば研修が受けられる時間的な余裕も生まれてきました。ただ、オンラインなので音声聞きにくいことや、双方向でやりとりすることが非常に困難であるといった課題も生まれてきました。そういつ

たことも踏まえて、一方的な講義型で伝達する内容が多いものについては、次年度もオンライン研修に切り換えていきたいと思います。顔を合わせて質疑応答が活発に行われる研修は、次年度も集合型で行いたいと思います。特に経験年数に応じた研修会で、初任者研修や横のつながりも作ってあげたい研修などは、できる限り集めて一緒に行いたいと思います。内容に合わせて方法は考えています。

■教育長 三尾委員。

■三尾委員 あらためて中津川市の教育施策をこうしてまとめていただくと本当によく分かります。目指す教育について、いろいろな分野からよく分かりました。中津川市の教育は、やはりこういう情熱があって、いろいろなところで特色を出しています。こうしたことを今後も続けていっていただければ、非常にありがたいと思いました。

コロナのことですが、記載するかしないかは別として、ここに挙げられたこと全ての中に、コロナの感染が拡大していたらどうするということが、付いていると解しました。だから、その場その場で臨機応変に、今年の実験を生かしながらよりよい教育活動に切り換えられる柔軟性を持っていただき、一つ一つの教育施策に当たっていただけるとありがたいと思いました。

また、ここに挙げられたことには、改善ということが全てにつきまとうと思います。一つ一つのこともっと具体的にしたときに、その中に改善が見られることが必要ではないかと思いました。例えば、学力アッププログラムですが、それを改善という視点で見た場合、今後どう進めていくのかといったことです。移動教育委員会でも説明がありますが、保護者や市民の意見を聞きながら、もっと生かされる学力アッププログラムが生まれてくるといいだろうし、学校規模適正化にしても、もっと具体的にどう学校規模適正化に踏み込むのかも持っているべきではないかと思いました。ここに記載されていない部分であると思いますので、改善が非常に楽しみです。

■教育長 三尾委員がおっしゃる通りで、改善していかないと形骸化していくのが世の常だと思います。立ち止まらずに変えていくことを心掛けていきます。ほかにご意見、ご質問はございませんか。

田島委員。

■田島委員 施設計画推進室についてです。もう少したくさん仕事をしていただいて、福岡小学校が新しくなりますので、空いた学校の今後の対策や、どんなものを作っていくか、壊すか、何かを誘致するか、いろいろあると思います。そういう対策を考えていくのも、この室の仕事だと思います。

それと、幼保の適正化についてですが、新しく作らなければならない園があるこ

となので、建てる場所を探したり、どんな状況にするかなど、ここに織り込んで考えなくてはならないと思います。私がかゆしくて仕方がないのが、この室が教育企画課に組み込まれてしまったのを、しっかり見守らず、気が付かなかったことです。

もう一つ、学校図書館ですが、「豊かな心と読解力を育む」とあります。100冊読書など、学校それぞれにいろいろな特色で、たくさんの本を子供たちに親しんで読んでもらう計画はどんどん推進されています。毎年、たくさんの子供たちが、100冊読書や学校の目標を達成して向上していているというのが今ですが、そろそろ、読む冊数だけではなくて、読む本の選択や読み方、ただ読んだだけではなくて、どう読み解くか指導していく時期に入ったような気がします。もう子供たちは本を読むこと自体は慣れてきて、読むのが当たり前になってきましたので、次の段階に入っていってもいいのではないかと思います。

■教育長 新福岡小学校の建設に伴い、空いてくる3つの小学校の活用等について、説明をお願いします。

伊藤事務局次長。

■事務局次長 福岡地区には、旧田瀬小学校を含めた4つの学校とふれあい文化センターと福岡公民館という施設もあります。たくさん施設を総合的に検討していかなければならないこともあり、施設計画推進室、文化振興課、生涯学習課、資産経営課が連携して、今後どう使っていくかを検討しています。基本的には、空いた学校については、将来、工場用地等で使っていただけないか公募することも考えています。公民館や郷土資料館の機能を福岡小学校に集約するなどの検討も必要です。関係部署が集まって、検討会を行なっています。まもなく方針も出せますので、随時報告します。

■教育長 幼保・園の適正化について、説明をお願いします。

河合幼児教育課長。

■幼児教育課長 新しい園舎を作るのは、今のところ1つの予定ですが、土地の確保や園の建設について、今年度、財政課と事前に話をし、現時点では私のところで動いています。具体的な話になりましたら、施設計画推進室と連携をとりながら進めていきたいと思っています。

■教育長 絆プランについて、説明をお願いします。

後藤教育研修所長。

■教育研修所長 今年度の絆プランの取り組み状況をまとめた結果があるので紹介します。本が好きだと答えた児童は、全学年を通した8割から9割です。中学校では7割以上の生徒が好きだと回答しています。中津川市が重点的に行なっていることが、子供たちの心の中に届いていると、この数値からもはっきりすると思います。

ただ、本を読む時間を考えると、決められた時間、学校で読むことはできますが、家庭では、学年が上がるに従ってなかなか読む時間がとれていません。これは子供たちの生活時間の問題もあるかと思いますが、中学校も小学校もどちらも心に残る本との出会いは8割から9割ができたと回答しています。学校が重点的に進めているところについては、ある程度の成果が上がってきていると思いますが、やはり質的な向上については、学校も指導の進め方を工夫しながら、子供たちの読書傾向をつかみながら、その子に合わせた指導を充実させていく必要があると思います。そういったことについては、図書館主任などの集まりを通して周知していきたいと思っています。

■教育長 絆プランについては、踊り場にさしかかっていると思います。たくさん本に出合いながら、ブックスタートができている子が中津川に多いことは、今までの大きな成果だったと思います。ただ、読書の中身を見たときに、やはり偏りがあります。もう一つの課題としては、スマホ、パソコン、テレビ等の液晶画面を見ている時間と、本に向かっている時間や家庭での学習時間とのバランスがどうかということがあります。絆プランと併せながら、今後、見ていく必要があると思います。今まで培ってきた成果を生かしながら、次の段階に行く頃だと考えています。事務局内で、また学校とも相談しながら検討したいと思ひますし、その必要性は十分に感じています。

小栗委員。

■小栗委員 施設計画推進室の事業で、坂本地区の学校教育施設整備について、もう少し詳しく教えてください。

■教育長 伊藤事務局次長。

■事務局次長 坂本地区では、以前より教室不足、老朽化した給食調理場を今後どうしていくか、また、そもそも職員の駐車場が不足しているという課題があります。こども園が完成したことで、坂本幼稚園の用地が空いたのですが、そこをどのように活用したら、坂本地区にとって一番いいのかを検討しているところです。今年度の予算で、坂本地区のそういった構想のたたき台をつくることを委託して、絵を描いていただいています。その絵を基に、坂本地区の皆さんとどういった方向で問題を解決していくか協議していきたいと考えています。具体的には、調理場も小中学校それぞれに単独調理場がありますが、古くなってきています。それを統合して共同調理場にしたとき、どこに作るのが一番いいのかという課題もあります。ただ、その施設が大きくなりすぎて、建てる土地を確保しないといけない課題があります。

それから、小学校の教室不足は、坂本地区は人口が増えている印象がありますが、統計的に見れば全体的には横ばいか下降気味で、本当に教室不足なのか、それとも

特別教室等が足りないのかということも再度検討しながら協議していく必要があると考えています。職員の駐車場は、職員が多いこともあり、学校の敷地内に多くの車を駐車しなければならず、そこに収まらず遠いところに車を停めている状態で、喫緊の課題になっています。そういったことを検討していきます。

■教育長 小栗委員。

■小栗委員 直近の問題もありながら、学校規模適正化とは少し外れますが、10年後、20年後という先を見たとき、今の坂本小中学校の場所の活用といったことを常々思います。リニアが通ったときの、あの場所の活用の仕方です。私は学校ではなくてもいいとずっと思っています。むしろ学校ではない方がいいと思っていますので、直近で解決しないといけない問題は多々ありますが、もっと子供たちにとって環境のいい安全な場所を、先を見ながらいろいろな構想を練ることも必要なのかと思っています。そんなことも考えていただけるとありがたいと思います。

■教育長 ありがとうございます。ほかによろしいですか。

小栗委員。

■小栗委員 学校教育課のデジタル図書の説明を、もう少し詳しくお願いします。

■教育長 大瀧教育次長。

■教育次長 次年度に限り、岐阜県共販株式会社から、県内の公立学校に対して1年間の寄贈の申し出があり、各学校に41ライセンス、同時に41人が使用できるものをいただきました。新しい本からロングセラーの本まで、常時約千冊、電子書籍で活用できるものです。

■教育長 ほかによろしいですか。

田島委員。

■田島委員 中津川の発達支援センターはきめ細かい対応をされており、近隣にも誇れると思っています。一つお願いがあります。移動教育委員会のときなどによく感じますが、発達支援センターに通う子供を持つ親同士の交流の拠点になっていただけないかということです。それで、親とか家庭のよりどころの役割を果たすわけにはいかないでしょうか。

■教育長 西尾発達支援センター所長。

■発達支援センター所長 今、保護者会の皆さんはそういった思いで、座談会なども進めています。講師として、大湫病院の精神科医の関先生をお呼びして、今年はコロナの影響で進めておりませんが、2月にその座談会をテレワークで行う予定です。精神科医の先生方を呼んで、子供との面接等をご指導いただける機会を作っています。さらにいろいろな先生方をお呼びして皆さんに知らせていきたいと考えています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 自然発生的に親さん方が集まって、交流会を始めた話も聞いています。そこに、そういった講師を呼んでの座談会をやったださることは大変すばらしいです。今はきっとまだモヤッとしていると思いますので、「こう支援をします」と言っただくと、非常に頼りになって、また発展していくと思います。モヤッとしなくて、ここを支援のよりどころとしてしっかり作っていくことをお伝え願えるとよりいいと思いますので、よろしくをお願いします。

■教育長 西尾発達支援センター所長。

■発達支援センター そういったことも、ホームページや保護者会での会合のときに示していきたいと考えています。

■教育長 その他ございませんか。

田島委員。

■田島委員 先日、阿木高校にお邪魔しました。「人材創生の強化」という文言が本当に大事だと思います。小中学校の振り返りも非常に大事ですが、これが阿木高校にとって一番の柱になると思います。

ところで、卒業生の就職率は100%ということですが、就職して3カ月、1年、2年、3年後について、調べたことはありますか。

■教育長 太田阿木高校事務長。

■阿木高校事務長 半年後は常に調べています。実際、キャリアカウンセラーの事業を行う中で、長期的なものがほしいというご意見も聞いていますし、そういった話を進路の先生にもしているところです。今はなかなか会社訪問自体ができませんが、就職をお願いしに行くタイミングで、卒業生の情報を常に把握して、元気にやっていますか、役に立っていますか等の相談は常にしています。また、たまに卒業生が学校に顔を出したりしている中で、全員にはできませんが、様子はどうかと聞くことも、心掛けて常にやっています。ただ、どうしても月日が経ってしまうと、正確に全員を調べることはなかなかできません。

■教育長 田島委員。

■田島委員 高校の先生が、卒業した子供たちの生活を指導することはありえないことで、役割が全然違うと思います。それでも、中津川市立の特徴を生かしていただき、生きにくい子供たちに対して、市のほかの課へつないでいくことも大事だと思います。障がい者の福祉計画が出ていますが、そこには、障がいがあると認められた方々の生きていく術は手厚く書いてありますが、阿木高校に通っていて少し生きにくいのではという子供たちを支援することはどこにも書いてありません。戸惑いながら生きていく子供たちにとっては、それが大事だと思います。中津川市立

の特色を生かして、先生方に強要はできませんが、上手に新たな分野として、何とかつないでいくことを作り上げていただけると、阿木高校に行った甲斐があるという事で、入学人数も増えるのではないかと思います。

■教育長 太田阿木高校事務長。

■阿木高校事務長 文書的には簡潔に書いていますが、常日頃から先生方は、生徒にそういう子が多いのは分かった中でやっていますので、先生を頼って卒業してからも来てくれる子もいます。常日頃から気にかけて行く中で、それが継続的に行なっていけるようにと思っています。また先生方にもそういったご意見をいただいたことを伝えて、今後の阿木高校の特色としてやっていければいいと思っています。

■教育長 ほかはよろしいですか。

それでは、文化スポーツ部からの主要事業の説明をお願いします。

池戸生涯学習スポーツ課長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見がありましたらお願いします。

橋本委員。

■橋本委員 図書館についてです。ネットワークの活用で、カーリルという蔵書検索システムがあると思いますが、そちらは利用されていますか。

■教育長 小池図書館長。

■図書館長 カーリルはどなたでも使えるものなので、図書館でも蔵書検索のときに活用しています。

■橋本委員 坂下の方が地元のためにと作られたものの一つと聞いたので、地元のものを新しくできる図書館でも活用できるといいと思いました。

■教育長 ご意見ありがとうございました。

田島委員。

■田島委員 図書館の基本施策で、市民各層に向けた行事についてです。これは、手薄い層があるようです。例えば、ヤングアダルトや就労期の男性です。なかなか図書館を利用してくれない方々に、どうしたら利用してもらえるのか、図書館に導くことができるかという方法について、考えがあれば教えてください。

■教育長 小池図書館長。

■図書館長 ヤングアダルト層と働いている男性は、来館人数も少なめで、貸出冊数の統計を見ても少なめですが、昨年度、高校生と交流していろいろな意見を伺っ

た中で、忙しいから行けない、学習室は利用するけど本は借りないということで、そういう時期なのかなと思っています。どこの図書館もその層の利用が薄いということで、図書館界の課題になっていますが、コロナということを手にとり、SNSの発信などに特に力を入れていきたいと思っています。意外とマンガがあれば行くなど、若い人からはそんな意見もありましたので、新しい図書館ではマンガのことも、今はあまり積極的には入れてないですが、考えていかなければいけないと思っています。

それと、働いている方に対しては、休日に親子でみえて、お父さんは一般書の方で時間を潰し、お母さんと子供は児童書のところにいる形もありますので、平日の夕方にお父さんが一人で会社帰りにぶらっと利用してくれる姿も見ますので、たくさんは借りていられないのですが、自分の仕事用に数冊借りていく方もみえます。まずは家族で来ていただいて、図書館を仕事にも使えるというところもうまくアピールできればいいと思っています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 少子化で子供たちには手厚い図書館ですが、子供が減り、将来的に利用する方々の形や流れが変わってくるという読みをしながら、新しい市民交流センターに移るときにも計画を立てていただけるとありがたいと思います。

もう一つ期待することがあります。新しい図書館運営に向けて、新たなサポーター組織立ち上げ準備とあります。これは大変期待のできることだと思いますが、従来から頑張ってみえた組織の方々と衝突しないように、大変だとは思いますが、上手にやっていただくようよろしくお願いします。

■教育長 ご意見ありがとうございました。

ほかにいかがですか。

小栗委員。

■小栗委員 文化スポーツ部の関連は、特に人が集まって何かをすることがたくさんあると思います。昨年もその関係で中止のものが大変多かったと思います。昨足を踏まえて今年、集合型でやる事業は、どうしても集まらないとできないものは中止せざるを得ない部分がありますが、何か工夫を凝らして集まらなくてもできるように変えていくことも、今のうちから検討しておいてもいいと思いますので、よろしくお願いします。

■教育長 丹羽文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 今年度はコロナの関係でイベントがほとんど中止になりました。特に5月からの事業ですが、外出できない、グラウンドが使えないということで、身近でできる運動などを動画発信して、学習の機会を作れないかと、それぞれの担

当に研究させています。今、全国的にいろいろな形でユーチューブに上げたりしていますので、それを参考にして、来年度はこの状況が続く限りそういった発信をしていきたいと考えています。ただ、施設利用やイベントに関しては広域で考えますので、国や県の方針に従いながら実施するものと考えています。その辺はよそのことも考えながら、独自の方法を研究していきたいと思っています。

歌舞伎などはやはり続けていかないと継承者がなくなってしまう。そういった文化や歴史に関して、学習の機会を与えるということで、歴史関係の文献などをデータ化して、外に発信できる工夫をしています。また、子供の芸能祭などは、なるべくやっていただくことを研究しています。文化会館も新しくなったので、広いスペースの中で開催して、外の人には動画で見ていただく工夫をしていきたいと考えています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 非常に心強い言葉です。私も小栗委員と同じ意見です。嬉しかったのは、藤村文芸祭をやってくださるということと、熊谷守一展も工夫して手をつけてくださることです。昨年は何もかも中止にしてしまうのかと思いましたが、今回はリモートでやってみたりと、いろいろ考えていただいていることがありがたいと思います。コロナで疲弊してしまっている市民を元気づけるのも生涯学習、文化スポーツの役割です。希望や道が断たれてしまっている人たちもたくさんいると思います。仕事ではなくて趣味を何かやろうかなと思っていてもコロナで何もできない、家にしかいられないということになってしまっていて、本当に疲弊してしまっている人たちの新しい扉を開いてあげるのが、今、生涯学習の一番の役目だと思います。何もできないのではなく、できることを考える、そう市民の考えをもっていかなせるすごく大事な役割があると思います。文化というのは、お金がかかりますし、一番に切り捨てられてしまう、生きていくためには要らないものかしらと思うこともありますが、やはり戦争があれば慰問のように心の支え、癒しというのが文化に求められるので、本当に大事なものだと思います。今こそ力を発揮していただきたいと思っています。

■教育長 ほかにいかがですか。

ご意見、質問等がございませんので、ご異議がなければ、議第1号については、承認ということでよろしいでしょうか。

それでは、議第1号「令和3年度中津川市教育委員会主要事業について」は、原案どおり承認とします。

これもちまして、本日の議事はすべて終了しました。委員の皆さん、ありがとうございました。

それでは、事務局から次回の開催日程について報告してください。

伊藤事務局次長。

■事務局次長 次回開催日は、令和3年2月17日、水曜日、13時30分から、会場はにぎわいプラザ4-1会議室の予定です。

■教育長 次回は、事務局次長からの報告通り開催します。

以上をもちまして、令和3年第1回中津川市教育委員会を終了といたします。
お疲れ様でした。

[閉 会 (午後3時17分)]